



週報

入間ロータリークラブ

宮崎会長テーマ

『楽しくやろう・ロータリー』(Let's have fun-Rotary)

2024-2025 RI 会長:ステファニー・アーチック 2570 地区ガバナー五十幡和彦 会長:宮崎正文 幹事:田中快枝

38号 3383例会 2025年 4月 17日(木)

<ビジター・ゲスト>

 元東京都副知事・(株)WS 企画「桃源酒家」代表
 取締役社長 竹花 豊 様

所沢ロータリークラブ 会長 鳥居 由美子 様

2月のIMでは大変お世話になり、ありがとうございました。皆さまのお陰で高評価を受け鼻高々です。



所沢ロータリークラブ 幹事 市川 雅巳 様

竹花さんにはお世話になっています。今日はお話を聞きたくて参りました。宜しくお願い致します。



米山記念奨学生 マック ジャ ハン 様



皆さん、こんにちはマックジャハンと申します。ベトナムから参りました。今、駿河台大学の経済経営学部で勉強しています。

私は、若者、特に女性にとって高等教育は贅沢とされる民族の村で生まれ育ちました。私の村では、女の子が16歳になると、ほとんどの人が結婚し、家庭の主婦になることを選びます。そんな中で高校に進学することすら、大きな挑戦でした。しかし私は、高校だけでなく、いつか豊かな先進国で学びたいという夢を持ち続けてきました。

中学校の頃、日本について学ぶ授業で、東日本大震災に関するビデオを見たことがあります。とても衝撃的だったのは、地震の後、小さな子供が長い列に並び、やっともらえた食べ物を隣にいるお年寄りに譲る姿でした。悲惨な状況の中でも、日本の人々が規律を守り、耐え、助け合いながら困難を乗り越えていく精神に深く感動しました。それ以来、私は日本という国に強い憧れを抱くようになり、日本で学ぶことを目標にしてきました。

現在、私は財務・会計を専門に学んでおり、将来は税理士として、社会に貢献したいと考えております。特に、日本に暮らすベトナム人の方々の力になりたいと思っています。

今回、ロータリー米山記念奨学生に選んでいただき、誠にありがとうございました。

今回の奨学金は、経済的支援以上に、私にとって大きな励みであり、自信にもなりました。この貴重なご支援に心から感謝するとともに、今後も努力を続けて、目標に向かって頑張っています。どうぞ宜しくお願いいたします。

会長の時間

宮崎正文会長

本日は多くのお客様にお越しいただきました。講師卓話の「竹花豊」様、所沢ロータリークラブの鳥居会長様・市川幹事様、そして、米山記念奨学生のマックジャハン様です、ありがとうございます。



竹花様は、経歴がすごくて恐れ多いのですが、自分の会長の時間で何を話そうかと、ドキドキしていました。でも自分とはレベルが違うので、自分は自分なりに話していこうかなと思います。のちほど、卓話よろしく願いいたします。

所沢ロータリークラブの、鳥居会長は、自分と会長・幹事が同期ですが、素晴らしい先輩です。地区に行けば、知らない人がいないほど、顔が売られています。そのうちガバナーにでもなるのではと思ったりしています。幹事の市川さんですが、先日RLIのファシリテーター養成セミナーと一緒に受けてきました。自分は大変でしたが、市川さんは何てことのない様な顔をして、すんなりとファシリテーターをしていました。それと、今年度、所沢ロータリークラブは10人位、女性を含む新入会員が入会されていて素晴らしいことですが、そこに市川さんが絡んでい

ると聞いています。会員増強の秘訣があるのではないかと、そのうちに聞きたいものです。

そして、ベトナム出身の米山記念奨学生マック・ジャハンさん、ようこそ入間ロータリークラブへ。昨年の9月に前の米山記念奨学生「ヤンユジンさん」に最後の奨学金を渡してから、半年してまた、米山記念奨学生が来るとは思ってもいなかったです。自分の年度で、二人の米山記念奨学生に関わって、とても嬉しいです。

ハンさんは、駿河台大学と聞いていますが、先日の飯能ロータリークラブ 60 周年記念式典で、駿河台大学の山崎理事長と以前卓話に来ていただいた時本常務理事がおられましたので、挨拶をしてきました。まさか、駿河台大学から奨学生が来るとは思わなかったのも、その席では言わなかったのですが、大学は近くにあり、住んでいるところも近いと聞きましたので、是非入間 RC で活動し、楽しんでいただき、今後の人生に役に立ってもらえたらと思います。

しかしながら米山記念奨学会は、勉学または研究のために来日した留学生に対して、奨学金を支給し、その目的を支援することが、ロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与するものですから、その点は忘れないように頑張ってください。何かあれば、カウンセラーの菅野さんがいますし、その上には一柳米山記念奨学委員会の統括委員長がいますので気軽に相談してロータリーを楽しんでもらいたいと思います。

名前の呼び方はハンさんで良いようです。皆さん、気軽に話しかけてあげましょう。

さて、もう4月も終わりに近づきました。すぐゴールデンウィークですね。なんか遊びのことが頭の中に浮かんできてくるのですが、もうここまできると、会長の時間のネタが尽きてしまっって何を話そうかと思って悩んでいるこの頃です。

<幹事報告>

田中快枝幹事

1. 4/20(日) 地区研修協議会での駿河台大学駐車場誘導の方は8時迄に集合
2. 4/22(火) 入間南 RC 合同例会
昼ゴルフ pleats. I 6時30分
3. 5月の第1例会は15日です お間違いない様ご注意ください。
4. 5月からクールビス
5. 4/24(木) 新現理事会 西山荘(18時)
ご出席よろしくお願いいたします。



<出席報告>

駒形一人委員長

会員数	出席数	出席率	修正率
38名	26名	74.0%	-----

事前欠席連絡5名

●委員長報告

[親睦活動委員会]

菅野茂実委員長

5月29日新緑夜間例会は飯能の清河園には行きます。大勢の参加お待ちしております。又、次年度米山記念奨学生のハンさんのカウンセラー努めます。よろしくお願い致します。



吉沢誠十会員 ご母様ご逝去挨拶



先日の母の葬儀には多くの会の方に御会葬していただきまして、ありがとうございます。またお手伝いいただき重ねてお礼申し上げます。母も父が会員の時からロータリーの行事には、いろいろ出させていただきましたので感謝をしていると思います。

<ニコニコBOX>

細淵克則 S A A

鳥居由美子様、市川雅巳様

竹花様のお話楽しみにさせていただきます。今日はよろしくお願い致します。

宮崎正文君、晝間和弘君、田中快枝君、細淵克則君、細田浩司君、一柳達朗君、津藤淳也君、杉田宏充君、後藤健君、駒形一人君

竹花様ようこそ入間RCへ卓話宜しくお願ひします。所沢RC鳥居様、市川様、米山奨学生ハンさん、ようこそ入間RCへ。

晝間和弘君

菅野さん4月13日の第1回カウンセラー会議に乗せていただきありがとうございました。

後藤健君

本日は大阪出張の為欠席いたします。

細淵克則君

鳥居さんいつも赤い靴下プレゼントしていただきありがとうございます。

吉沢誠十君

母の葬儀の際は多くの会員の方の御会葬、お手伝いいただきありがとうございました。

本日¥27,000 累計¥715,000

卓話者紹介

プログラム委員会 細田浩司委員長

桃源酒家西武所沢の代表者であり、警察官僚、元東京都副知事、東京ビックサイト社長、「おやじの会」のネットワーク組織であるおやじ日本理事長等数々の輝かしい経歴をお持ちの竹花豊様をお迎えし、「リスクを恐れずにひたむきに生きた警察官僚の信念」とか、「おやじ日本の20年」とか、「子どもたちに対する大人の責任」などをお話しして頂きます。よろしくお願い致します。



■■■講師 卓 話■■■
「子どもは社会の宝はうたい文句？」
竹 花 豊 様

最初にクローズアップ
現代の 2002 年 11 月に放映された私が広島県警本部長として取り組んだ暴走族対策について見て頂きます。



深夜、寝静まった街を襲う爆音暴走族が大きな問題となって女性や高齢者を狙ったひったくり、恐喝、警察官にまで怪我を負わせるなど、暴走族による犯罪はエスカレートしました。広島県警察本部は前代未聞の作戦に出ました。集団での暴走行為をやめさせるために警察がたどり着いた作戦。それはパトカーを暴走している少年たちの車にぶつけて止め、その場で逮捕しようというパトカー体当たり作戦でした。少年たちの安全を第一に考えて臨んできた、それまでの取り締まりでは効果が上がらなかった為です。その様な状態が十年ぐらい続いており、私は平成 13 年の 9 月に広島県警副部長として解決したいという思いとともに、私が何を考え、その後の私の人生に大きな影響を与えてきたのかを今日はご紹介できればと思ってお話させていただきます。

暴走族は中学生もかなりいましたが大半は高校生、あるいはその年代の若者、この暴走行為というのは、広島に共生会という仁義なき戦いで有名な暴力団がありますけれども、こいつらの指示に基づいて行われていました。それを分かりながら、県警は十年もこんなことをやらしていたのかと思うのが僕の実感でした。

そこで子どもたちをどうやって社会に取り戻していくのかを考えた訳です。こんなことをやって大人になっていって、良い大人になるわけがない、世の中はそういうもんじゃないよということを教えたい。そこで、私も警察としてやれることをやるけれども、県民の多くの方々に私もは中心になってやるけれども、助けてもらいたいということと呼びかけて、警察の強行作戦とは全然違ったところで、子ども達を社会に取り戻す、色々な活動を県民の方が遣って下さいました。女性の暴走族には料理を教えたり、よさこい踊りを教える、就職を世話する。そういう県民の多くの方々が彼らに声をかける中で、この暴走族の取り組みは、私が広島でおりました一年半ぐらいで殆ど終わりました。その後、この広島での暴走族問題は皆無になりました。それは警察が強行的なことをやったからそうなったんじゃないくて、県民がみんな

で社会に取り戻す動きをしたことで暴走族の子どもたちは、色んな人が声をかけてくれ社会に帰っていきました。

その後、石原知事からこのビデオを見て副知事としてお願いしますとお誘いをいただきました。警察が手を出せないところを東京都がやってやろうと。その一つは不法滞在者対策です。当時、全国に 20 数万人の不法滞在者がおり、その多くは東京に、特に歌舞伎町にはゴロゴロいたわけです。僕は法務省とコンタクトを取って、入管法上の強制退去事由を活用して、一気に始めたわけです。その結果 5 年足らずのうちに、不法滞在者は 3 割ぐらいになりました。

それから万引き犯罪が多く警察は勘弁してくれと、小売事業者の皆さん方、自分たちで防いでくれというのが、警察の限界だったんですね。それは怪しからんと言われても、どうしようもないわけだったんです。

この問題も全国万引き犯罪防止機構という方針を作って 20 年間ぐらい関わってきました。去年の 12 月に理事長を引き継いで、今は会長としてサポートする立場になっています。

もう一つは痴漢問題で、女の人たちはもう電車に乗るのは嫌だと言って職場を変ったり、もう本当に大変な状況があり、事業者の JRC 含めて 9 つの私鉄の事業者を集め、何とかしろよと言っても全然動かない。組織って面白いですよ。大体今まで通りやるっていうのが普通で、何か新しいことをやる時にはやれない理由を見つける。僕が定義した時に、いや、私たちは乗客の安全を守ることが一番でありますから、そういうことを考えると自信を持てませんと。JRC 東日本がそう言えばみんな施設もいやそうだと、そうだと。まあそういう状況の中で、まあこれはちょっと石原知事の力を借りて、JRC 東日本にも話をしてもらって、大阪でやってる女性専用車両で作れという話をして、ようやく女性専用車両が作ることができ女の方々は皆が喜んでくれました。

東京都にいた時に、子どもたちの非行を防いだり、大きな意味で健全に育てていく作業も一つ大きな僕の課題だったんです。色々な分野の人と話したり聞いてみると、お父さんが仕事ばかりしていて、子どもをほったらかし。親父の背中見せてりゃ良いと思ってる親が沢山いる時代でした。特に父親たちに、学校にたまには顔出して子ども達と一緒に遊んだり、悪いことした子ども達にお前、「あかんじゃないか」というような、そういう流れを作っていけないかと考えたわけです。

東京の世田谷区自治体がそういうことをやっている親父の会の人たちを財政的にも支援してその結果、親父の会が今も続いている取り

組みから僕は学んで、これを東京都全体に広げた訳です。それじゃあ親父東京みたいなやつ作って、小学校や中学校等いろんなところに親父の会を作ってもらえればと働きかけようか思ったのが「親父日本」の始まりです。21年ぐらいになります。

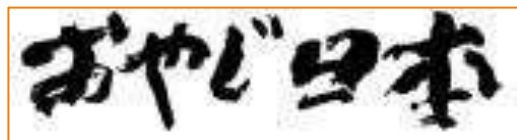
今、私どもの主要な活動の柱になっているのは、未来教室というのが一つあり、学校に企業の人たちに出向いてもらって、自分の経験や、企業で活動する、仕事をするということはどういうことなのかと直接、子どもたちに語ってもらい組みです。もう十年以上ぐらい遣っています。この授業を受けてくれた子どもたちは、小学校、中学校。まあ最近高校もあります、もう5万人を遥かに超えた状況になっています。

学校って皆さんご存知のように非常に閉鎖的なんです。授業は先生じゃなきゃ出来ないわけです。その中でも心のある先生たちは、やはり社会の息吹を直接子どもたちに伝えられる機会を喜んでいます。もう本当にいろんな企業、パナソニック、最近アマゾンも来てくれます。80数社協力をしてくれています。

この取り組みをずっと長く続けていて、子どもたちは結構、自分の未来を見つめていることに気が付きました。むしろその子どもたちの未来に向ける目を塞いでいるような役割を果たしているのは、いい学校に行かなきゃ評価してもらえないのではという考え方である、古い大人たちの振る舞いが、子どもたちな影響している側面もあるなども解ってはきています。

それと日本の子どもたちは過保護だよ、日本の子どもの育て方は。そういう中で育ってきた子どもは何かの時に自分の力を発揮するっていうことに凄く難しい側面がある。

自分のことは自分で考え自分で決める。もっと子どもたちに強調しなきゃいけないのでは無いでしょうか。子どもたちを本気になって、自信を持って俺はこうだと言える子どもたちをどうやって作るのかということを、やっぴいかなきゃいけないと常々考えています。



年に一回「おやじ日本全国大会」をやって、ウェブでも発信してます。今年は6月7日の日曜日です。見てください。パッケンマッケンが出てきます。もうパッケンマッケンはもう常連です。もうどんなことがあっても出てきます。

面白いですよ。そういう人々と学者とかも集まって、僕もコーディネートしています。

今日お持ちした冊子には、それ以上の事が書いてありますので、どうぞ時間のある方はお読みになってください。それとともに、6月7日に午後の会議での大会ですので、**おやじ日本**と引けるようになっておりますので、どうぞお聞きいただければと思います。

最後になりますけど、子どもは社会の宝とよく言うでしょう。本当に社会人は子どもを理解し大事にしていますか。で、そこを僕らは問い直して子どもを大切にすることとは、やっぱり社会を良くすることによって繋がるのですよ。大人や親の振る舞いを見て、子どもたちは育っていくわけでしょう。まあ、テレビもいい番組があるけども、見せたくない番組が山々あり、今のウェブの世界は惨憺たるものでしょう。もちろん、それを見て判断する力をつけていって貰わなくては行けない。大人がずっとそういうのを見てたら、子どもは育たないですよ。という事だと思うんです。で、まあ一度我が身を振り返って頂いて、まあ私もそうですが、これからの社会どうなるかわからないけども、そこで生き延びる逞しい子どもたちをどうやって育てていくのかということを、よく考えていただければと思います。

今日はこの様な機会をいただきありがとうございました。



■回覧、配布物

- ① ハイライトよねやま Vol. 301
- ② 茶の香めーる Vol. 94
- ③ ロータリーの森奉仕活動参加のお願い
- ④ 入間市ゴルフ協会ご案内と申込書
- ⑤ 2027-2028 年度ガバナー候補者の宣言
- ⑥ 4/20 地区研修協議会(駿河台大学)ご協力
- ⑦ 5/29 夜間例会(清河園)出欠席表
- ⑧ 4/22 入間南 RC 合同例会&ゴルフ組合せ
- ⑨ 入会候補者のお知らせ
- ⑩ 愛宕神社お灯籠祭りパトロールについて
- ⑪ プログラム 4, 5, 6 月
- ⑫ 他ロータリークラブ週報&お知らせ
- ⑬ 週報 37 号

発行 入間ロータリークラブ

■事務所：〒358-0005 入間市宮前町 1-10 繁田醤油(株)内 Tel. 04-2964-1700 Fax. 04-2965-5788
■Email：iruma-rc@jupiter.plala.or.jp
■例会場：丸広百貨店入間店 6F パンケットホール Tel. 04-2963-1111
■例会日：木曜日 12:30~13:30 ■会報委員長：吉田勉

